

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス ドリーム		
○保護者評価実施期間	R7年 11月 1日		～ R7年 12月 27日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	13世帯	(回答者数) 12
○従業者評価実施期間	R7年 11月 1日		～ R7年 12月 27日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数)
○事業者向け自己評価表作成日	R8年 2月1日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	児童10人に対して児童発達支援管理責任者1名、保育士1名、児童指導員2名という国の人員配置基準の人員配置を常に行い、児童分野での経験と専門性の備えたスタッフを配置しています。	療育活動の充実に向けて、更なる専門性を獲得できる講習や外部研修への参加を検討します。
2	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	ケース会議を行い、他の職員からの課題への進捗状況の確認、課題内容についての聞き取りを行い検討がなされている。	利用者に関わる外部の地域連携機関や学校と連携し、お住いの地域に根ざした子どもさんの発達を見守っていく体制の確立に繋げていけるように検討していきます。
3	保護者への説明等「定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。」へのブログ閲覧による支援風景や子どもさんの様子などを目にいただき、理解が深まった。	活動の様子や、従事する支援員の講習や避難訓練内容をブログを通じて目にして頂き、安全に配慮した取り組みを配信し、利用者からの理解を得る事ができている。	今後は委員会開催や各研修の風景も写真つきでブログ記事として掲載し、質の向上についての支援員の取り組みも伝えて行くことが出来たらと考えている。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	環境・体制整備の「生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか」「こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。」等の事業所での利用者の過ごしについての伝え方に不十分さがある。	利用者の保護者様に、実際に事業所での生活空間の様子や間取り、活動実施の様子をお伝えしている。保護者の方に事業所に来て頂き、支援室を見て頂くような機会が不十分であった。また、今年度から始まったブログの方への案内を行ったが、周知に至っていない事も要因として考えられる。	モニタリングや子育てサポート加算対応の機会に事業所へ来ていただき、支援室を見ながらご様子をお伝えする。またブログの方で継続して活動や支援員の講習風景の写真を掲載する事で、支援のご理解を得るように改善に努めていく。
2	非常時の対応「安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。」等の内容検討。	毎年二回の避難訓練の実施と、不審者対策研修を職員で行っている。ただし、関係機関の指導や緊急時対応の専門性が高いとはいえない。	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。
3	(自立支援)協議会等への案内が届いているが、出席ができていない。	自立支援協議会には参加しているが、担当者と開催日時との折り合いがつかず、自立支援協議会への出席は行えていない。	今後は、職員内で参加が可能になるように都度、選任者を決めて、参加を行えるようにして改善を行っていく。